

日曹ゲッター[®]水和剤

(GETTER WP)

登録番号 第17698号

種類名 ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤
diethofencarb・thiophanate-methyl

性状 類白色水和性粉末 45 μm以下

有効年限 4年

有効成分 ジエトフェンカルブ 12.5%、チオファネートメチル 52.5%

P R T R チオファネートメチル(PRTR・1種) 52.5%

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 (100g×25袋)×4箱、500g×20袋

■特長

1. 総合殺菌剤として実績のあるトップジンMと、ベンズイミダゾール系薬剤の耐性菌にのみ強力な防除効果を示すジエトフェンカルブ(一般名)の配合剤なので、灰色かび病の耐性菌と感受性菌を同時に防除できる画期的な薬剤です。
2. 予防効果・治療効果に優れ、残効性及び浸透移行性等の諸特性を備えています。
3. 有効成分のひとつであるチオファネートメチルは、幅広い殺菌スペクトルを有していますので、灰色かび病と混発する他病害との同時防除が期待されます。
4. 人畜・魚介類に対する毒性は低く、ミツバチ・カイコなどの有用昆虫に対する影響も少なく、また、作物に対する薬害も、少ない薬剤です。

■適用病害名及び使用方法

(2018年8月8日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	ジエトフェンカルブを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法			
みかん	そうか病	1,000～1,500	200～700	収穫7日前まで	5回以内	5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、 散布、空中散布 および無人航空機 散布は合計5回以内)	散布			
	灰色かび病	1,000～2,000		開花期							
かんきつ (みかんを除く)	そうか病	1,500		収穫21日前まで					3回以内	3回以内	8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)
		1,500～2,000		開花期							
ぶどう	灰色かび病	1,000～1,500		収穫45日前まで	1回		5回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は 1回以内、生育期の 散布は1回以内)				
うめ	黒星病	1,000		1,000～1,500	収穫21日前まで	3回以内	3回以内		6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)		
	灰色かび病	1,000～1,500									
かき	炭疽病 落葉病			1,000	収穫7日前まで	3回以内	3回以内		10回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は 1回以内、生育期の 散布は6回以内)		
いちご	炭疽病		100～300	収穫開始21日前まで		6回以内	4回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は3回以内)				
たまねぎ	灰色腐敗病			収穫7日前まで	5回以内	5回以内	7回以内 (種子への処理は 1回以内、苗根部 浸漬は1回以内、 無人航空機散布は 3回以内、散布は 5回以内)				

殺菌剤 ゲッター水和剤

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	ジエトフェンカルブを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法		
いんげんまめ	菌核病	1,000	100～300	収穫14日前まで	4回以内	4回以内	5回以内 〔種子への処理は1回以内、 (は種後は4回以内)〕	散布		
	炭疽病	1,500								
あずき	灰色かび病	1,000～1,500								
	輪紋病 炭疽病	1,500								
	菌核病	1,000								
だいず	紫斑病	乾燥種子重量の0.5%	-	は種前	1回	4回以内 〔種子粉衣は1回以内〕	4回以内 〔種子への処理は1回以内〕	種子粉衣		
		1,000	収穫14日前まで							
えだまめ	紫斑病 莢汚損症	1,500	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	3回以内	4回以内 〔種子への処理は1回以内、 (は種後は3回以内)〕			
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病		収穫前日まで							
ズッキーニ			収穫7日前まで							
トマト	灰色かび病 菌核病	1,000～1,500	100～300	収穫前日まで	5回以内	6回以内	6回以内 〔種子への処理は1回以内、 (は種後は5回以内)〕			
ミニトマト	葉かび病	1,500			3回以内	3回以内				
なす	灰色かび病 菌核病	1,000～1,500			5回以内	5回以内			5回以内	5回以内
	黒枯病									
すいか	炭疽病				収穫21日前まで					
きゅうり	褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病		収穫前日まで							
キャベツ	菌核病	1,500	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	3回以内 〔種子への処理は1回以内、 散布は2回以内〕	散布			
レタス						4回以内 〔種子への処理は1回以内、 灌注は1回以内、 散布は2回以内〕				
花き類 観葉植物 (ひまわり、 ゼラニウムを除く)	灰色かび病	1,000	200～700	感染期～ 発生初期	5回以内	5回以内	5回以内			
ひまわり ゼラニウム	斑点病									
樹木類 (ハイドランジア、 やなぎを除く)	灰色かび病									
やなぎ	炭疽病									

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	ジエトフェンカルブを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
ハイドランジア	輪斑病	1,000	200～700	—	5回以内	5回以内	5回以内	散布
	灰色かび病			感染期～発生初期				

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
3. ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱や果実の汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
4. だいたいの紫斑病に対しては、落花後～若莢期に2～3回散布してください。
5. きゅうりに使用する場合、高温時の散布では、薬害を生じる場合があるので注意してください。
6. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
7. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
8. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節してください。
9. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

11. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
12. 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
13. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
14. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
15. 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない人が使用区域に立ち入らないように、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。